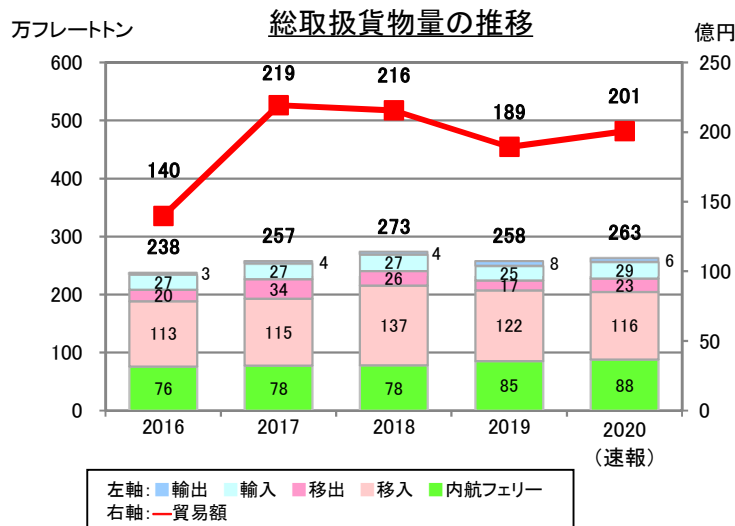


1. 唐津港の概要

唐津港は、佐賀県の北部に位置し、古くから石炭の積出港として利用されてきた。エネルギー調達における構造の変化から、港の利用転換を図り、臨海部の工業開発を進めることで、電力、石油等の企業が進出するようになった。また、唐津港の物流の中心である妙見地区では、内貿ターミナルから外貿ターミナルに利用形態を変更し、外貿貨物に対応している。

2. 唐津港の取扱貨物データ

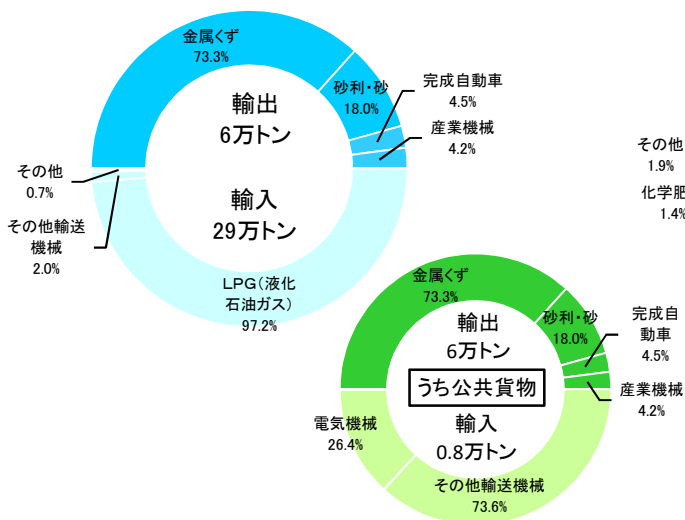
■ 2019年 取扱貨物量 全国108位 (20年速報で103位)



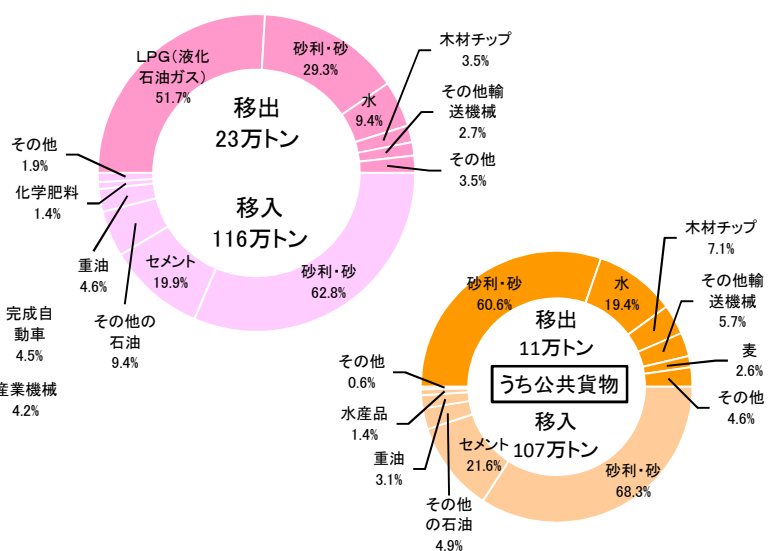
出典: 貿易額は財務省「貿易統計」、貨物量2016～2019年は港湾統計(年報)、2020年は国土交通省港湾局調べ
※移出、移入: 内航フェリーによる貨物を除く ※内航フェリー: 内航フェリーにより移出・移入される貨物

取扱貨物の品目内訳(2020年)

外貿



内貿



※内航フェリーによる貨物を除く

出典: 国土交通省港湾局調べ

3. 唐津港の主な定期航路(2022年5月1日現在)

内航フェリー航路

唐津～壱岐(印通寺)

便数(5便/日)

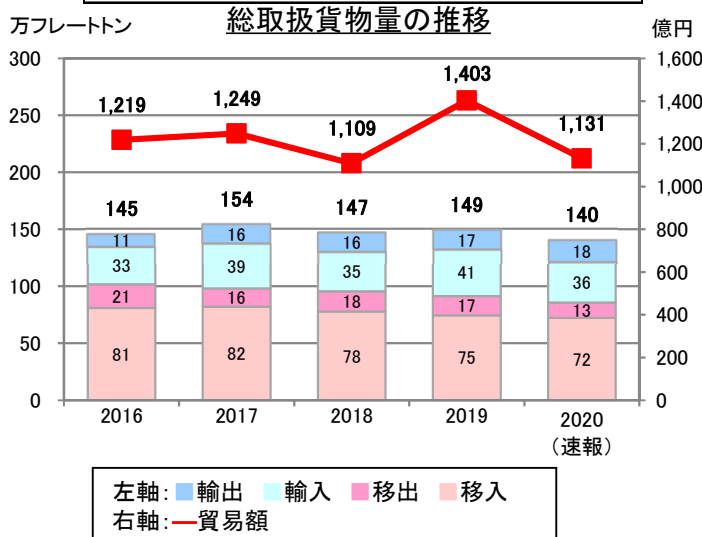
1. 伊万里港の概要

伊万里港は、佐賀県西北部にあたる伊万里湾の湾奥部に位置する天然の良港で、湾内は水深が深く静穏であるうえ、西九州各都市とのアクセスが容易であるため、諸外国との海上交通の要衝として古くから重要な役割を果たしている。

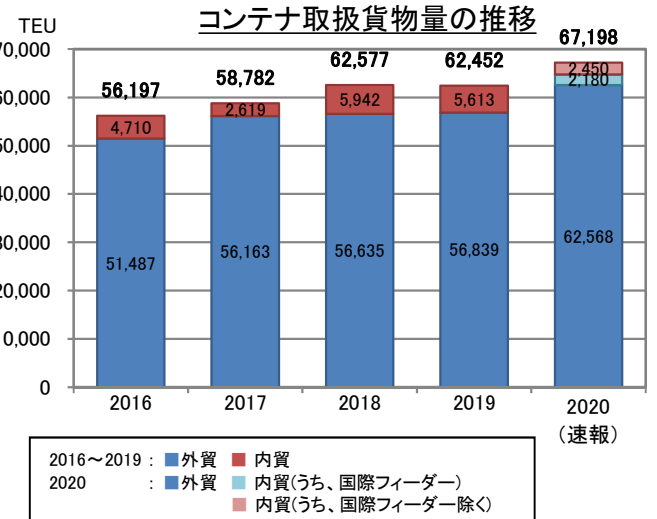
七ツ島工業団地や伊万里団地など、佐賀県最大の工業団地が立地する工業港であるとともに、東アジアとの外貿コンテナ航路網を有しており、西九州のコンテナ貨物の取扱拠点となっている。

2. 伊万里港の取扱貨物データ

■2019年 取扱貨物量 全国129位 (20年速報で127位)



■2019年 コンテナ取扱貨物量 全国30位 (20年速報で26位)



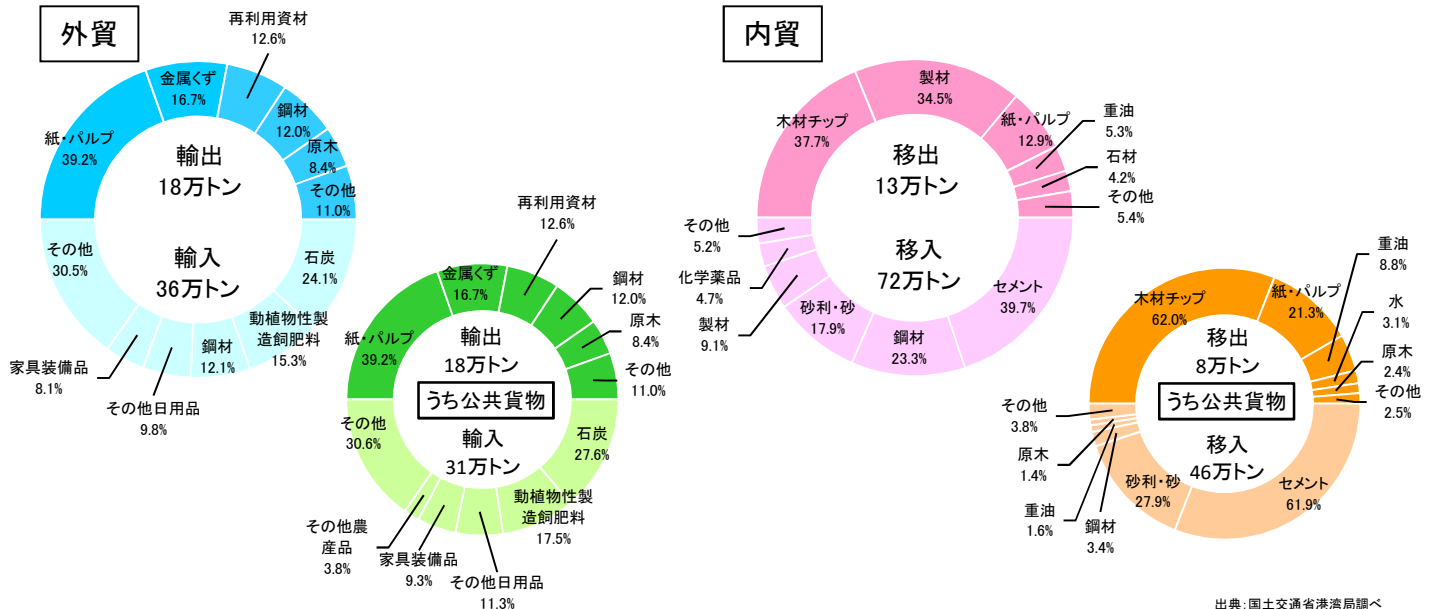
出典: 貿易額は財務省「貿易統計」、貨物量2016～2019年は港湾統計(年報)、2020年は国土交通省港湾局調べ

出典: 2016～2019年は港湾統計(年報)、2020年は国土交通省港湾局調べ

※ 国際フィーダー: 内貨のうち、国際コンテナ戦略港湾で積替えられて輸出入されるコンテナ貨物量

注) 国際フィーダーは港湾管理者に可能な限り調査・提供頂いたものであり、全量を把握できないため、参考値であることに注意

取扱貨物の品目内訳(2020年)



3. 伊万里港の主な定期航路(2022年5月1日現在)

外貿コンテナ航路	中国航路	韓国航路
国際フィーダー航路	阪神航路	